

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	つながり人口創出および移住定住に向けた南信州広域連携事業	
事業主体 (連絡先)	南信州広域連合 飯田市追手町2丁目678	
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業	
事業タイプ	ソフト	
総事業費	1,855,031 円	(うち支援金) 1,405,000 円)

事業内容

1 域内のつながり人口事業のキーパーソン調査

つながり人口創出のためのキーパーソン(ずくラーと呼称)について洗い出しを行い、その活動内容や課題等を把握するとともにその人の人となり分かる音声データを作成して、つながり人口のキーパーソンの魅力を効果的に分かりやすくこの音声データをずくラーとして、つながり人口関係者内で共有した。調査人数:9人

2 つながり人口のキーパーソン同士が集まる機会の創出【11月1日】

それぞれの活動内容をその他のキーパーソンや市町村担当者と共有できる場として『ずくラー』公開収録デーを開催した。参加人数:17人

3 首都圏などでの移住相談会の開催・参加【9月21日、21日、11月9日】

ふるさと帰郷フェアに出展し、当地域への移住に関する相談を受けた。また名古屋吹上ホールにて、南信州暮らし相談会in名古屋を開催した。相談者:40名

事業効果

- ①移住・定住・つながり人口創出のための各種イベントに、14市町村の移住担当者・JA担い手支援室、Hue-ish(株)など、官民が連携した取り組みができた。また、意思決定のための担当者会議を4回(12/26時点)開催し、担当者間で情報共有しながら進めることができた。
- ②つながり人口創出のための当地域のキーパーソン(ずくラー)について、その存在や活動などについて発掘し、キーパーソンや市町村担当者間で共有できた。
- ③ずくラーという、音声データを活用したキーパーソン共有方法をとったことで、その人柄を効果的に共有でき、キーパーソンや市町村担当者がその人とつながりやすくなる効果が期待できる。
- ④移住相談イベントを開催・参加することでこの地域への移住検討者を増やし、移住者へつながる活動ができた。

今後の取り組み

・首都圏等で今すぐ移住したい人・検討している人と、地域のことを知ってつながりを持っていきたいと考える人の2つの時間軸を持っている人々に対して、前者は移住相談会やセミナーを開催することで南信州地域を移住候補地としてPRするとともに、後者に対してはつながり人口創出事業を着実に進めることで、つながり人口創出による地域活性化と将来の移住定住人口の増加につなげていく。



【公開収録デーの様子】

【目標・ねらい】

- ①移住定住と連動したつながり人口創出事業を官民一体かつ14市町村で取り組む
- ②地域内のつながり人口創出のキーパーソンを市町村担当者やキーパーソン間で共有する
- ③移住定住イベントに参加・実施する。

※自己評価【B】

【理由】

予定していた事業について実施し、つながり人口キーパーソンの共有ができた。移住定住等のイベント参加者数について目標人数に届かなかった。